

様式第2号（第5条関係）

平成 27 年 10 月 20 日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 藤本光行 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成27年 7月25日 ~ 平成27年 7月26日まで
- 2 旅行先 東京市谷 法政大学市谷キャンパス
- 3 目的 市民と議員の条例づくり交流会議 2015 への参加
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 27 年 7 月 25 日 13 : 30 ~ 17 : 30
視 察 先	市民と議員の条例づくり交流会議 2015 (1日目)
調査事項	議会改革の10年、これから
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	1. 栗山町議会サポーターの1人である法政大学廣瀬教授が発起人の1人であるこの会議は、地方議会のあり方や議会改革について、地方議員はもとより一般市民、議会事務局員、自治体職員、地方議会に関心のあるさまざまなジャンルの有識者等が集い、意見交換を行ない、よりよい地方自治をめざすというものである。 この会議に参加することによって全国の地方議員と意見を交換し、議員力を高めるとともに、各種講演や、小人数によるグループワークショップを通じて、資質向上に努めるものである。 2. 13:30 開 会 ~ 14:00 オープニングセッション 講演 「地方創生は地方議員の力量にかかっている」 14:15 ~ 17:30 グループワークショップ テーマ 「議会報告会、ってなんだ!?!」 ・議会報告会って、やっていいこと悪いこと

3.4. オープニングセッションでの講演については

馬渡 剛 氏 (東城大学人文学部社会科学科
准教授) による 地方創生にかかわる講演が
行われた。

主な内容は、現在 政府によって「地方創生」が
打ち出され、全国の自治体で 総合戦略の策定
が行われているが、地方競争の時代においては
議会が(議員が)積極的に かかわる 智恵を出し
ていかねばならない、というもの。

本町でも 総合戦略を 策定中であるが、

人口ビジョンなど、人口減少をくい止めるという
大変困難な目標を、数値的にも達成してい
かなければならないものことから、戦略
については、行政まかせにするのではなく、
議員として、一町民としても、目標達成のため
の、智恵を出していかなければならないと
感じた。

その後のワークショップについては、3つのテーマ

(1. 議会報告会、?なんだ!? 2. 良い議員、?
なんだ!? 3. 議会内人事、?なんだ!?)
が示されたが、1. の 部会へ参加した。

議会報告会については、参加した全国の
地方議員から 現状報告を受けたが、長年
行っている所、最近始めた所、まだ行っ
ていない所とさまざまで、議会基本条例の
制定も含めて、現状に差異があることを
実感した。

具体的には、議会報告会で、や、いいこと
悪いことを 少人数グループに分け意見を
出し合い、その後グループをシャッフルして
またちがった意見を聞く、ということを
数回くり返す。意見を練り上げていった。

まとめでは、や、いいことと悪いことは
すべて表裏であり、議会側と市民側の
双方向性が大切であり、議会側の言いはな
しはため！とか、寄せられた意見を生かす
しくみを作ることをしなければいけないと
聞き、ほほうしはため！などがあった。

報告会については 全国どの地域でも
参加者の固定化や 若者、女性の参加が
少ないなど、共通の問題があるように
報告会とはちがった 町民意見聴取の場、
(たとえば 少人数議員で 女性サークル等へ
出向いての 懇談会の開催など)をつくら
行くことと有効かと感じた。

日 時	平成 27 年 7 月 26 日 10:00 ~ 15:30
視 察 先	市民と議員の条例づくり交流会議 2015 (20日)
調査事項	
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	2. 10:00 全体会・第1部 ~12:00 ・ 調査報告「議会調査2015 結果報告」 長野 基 首都大学東京 准教授 ・ ワークショップ 成果報告と問題提起 ・ 講演 「地方創生と地方議会の役割」 いずみ議員に求められていること 青山 章久 読売新聞 編集委員 ・ コメント 中尾 修 東京財団研究員 コーディネーター 前田 隆夫 西日本新聞 13:00 ~ 15:30 全体会 第2部 ・ 基調提起 「議会改革の10年」 これからどこから 廣瀬 克哉 自治体議会改革フォーラム 呼びかけ人代表 ・ 実践報告 寺島 渉 飯綱町議会 議長 鈴木 太郎 横浜市会 議員 西沢 一郎 所沢市議会 議員

3.4. 始めに、長野 准教授により、全国自治体議会に関する実態調査 2015 の概要報告がなされ、2014 年末における議会基本条例の制定率が全国で 39% になったことなどが示された。

その後、読売新聞編集委員の青山氏による「地方創成」政策と地方議会のかかわりについての講演が行われた。

政府によるエから目線での「地方創成」の考え方にはさまざまな問題点があることを指摘し、この政策の中にかくれた中央集権的、地方コントロールの考え方を批判しながらも、人口減少社会における地域のあり方を提示した。

午後には、冒頭 廣瀬 教授による議会改革の現状と、見守るべき姿について基調提起があり、全国で地方議会改革は進んでいるが、それにとともに、その改革に対する「成果」が求められる段階にきていると指摘した。

その後、3 者による実践報告がなされ、それぞれ、飯綱町における議会改革の内容、横浜市における議員提案による条例策定、所沢市議会における議会改革や議会卒業に対する評価表を用いたしくみという内容が報告された。

先進的取り組みとして大変勉強になった。

全体を通じて 今回の条例づくり会議も
議会改革ととらえてより良い住民自治をめざす
という基本的な考え方の地方議員が集まる
本会議において 意欲あふれる 議員や
市民の方と行った ディスカッションは 意識の
高揚と自己研鑽に大いに役立った。

また 各種講演は専門的見地からの提言
ということに大変勉強になったが、特に
青山 編集委員の講演は 地方創生に
アロウする 根本的な姿勢や思想が
中央政府の考えとは 一線を画しており、
大変興味深く聞くことができたし 参考に
なった。

毎年開催される会議であるが、年々の
テーマも時事によりよく考えられていて
自身にとって 大変有用である。ぜひ来年も
参加したい。